

教育行政報告
(教育表)

■学校教育関連

毎年、学校訪問や教育関係施設等の現地調査を行つてゐる。10月1日に社会教育委員との懇談、10月22日には社会教育施設の現地調査として小川原脩記念美術館、俱知安風土館の视察を実施。今年度から年2回の実施とした学校訪問の第2回目を11月10日・11日の2日間で実施した。

社会教育委員との懇談では、社会教育委員への情報提供の不足といつた課題や、学校と地域をつなぐコーディネーターの役割を学校教育、社会教育が連携し、組織的に担つて欲しいといった意見等をもった。

今年度2回目の学校訪問では、すべての学級の授業参観に続き、今年度の学校経営計画の進捗状況や施設設備の現

全国学力・学習状況調査

小学校では、国語の知識に関する調査、応用に関する調査とも全国平均とほぼ同レベル、算数では知識・応用とも全国平均を上回る結果となつた。

国語の「読む」「書く」力は、ここ数年で大きく改善が見られ、うれしい結果が出ている。

算数では、「分数計算」の理解や「図形」領域の問題で誤答が多い傾向が見られ、応用の調査では正確に説明する国語力の向上が算数の結果にも反映されている。

中学校では、国語、数学の知識に関する調査、応用に関する調査とも全国平均を下回る結果となつていて、国語では「書くこと」の領域を苦手とする傾向が出ており、資料の中から適切な情報を得て明確に伝わるように書く問い合わせは正答率が低い結果になつた。

数学では、「数と式」の

「図形」の領域では全国平均を上回る状況で、基礎的な事項で軽微なミスが見られ、難易度の高い領域では正答率が高い傾向が見られた。

生活習慣や学習習慣に関する質問では、テレビの視聴時間やゲームの時間が長い傾向が見られ、「早寝・早起き・朝ごはん」といった規則正しい生活や家庭学習、読書が学習理解にも結びついている。

学習面ばかりではなく家庭における生活習慣の改善など、学校・家庭と連携しながら取り組んで行く必要があると考えている。

町立小学校の適正配置
教育委員会議において慎重かつていねいに審議を行い、本年12月を目途に基本計画（案）をまとめて行きたい。

文科省が少子化による児童生徒の減少化を踏まえた公立小中学校の統廃合基準を改定するといった報道がある一方、財務省が公立小学校の低学年に導入されている35人学級を40人に戻す動きも報じられている。

今後も国の動向等を注視しながら、審議を進めて行きたい。

3日の文化の日に、町内33団体、総勢283名が歌、舞踊、ダンス等を披

町立小学校の適正配置

露する芸能発表会などの事業を実施、合わせて総合文化祭児童生徒作品展において42名の児童生徒への表彰と、文化賞3名、文化奨励賞3名の表彰が行われた。 公民館では、町内各幼稚園、保育所園児の作品展示728点、生け花や各サークルの作品展示601点、書道等一般の作品175点を展示し、多くの方々に鑑賞いただいた。

スポーツ表彰

平成26年度のスポーツ表彰は、11月8日の「小学生ドッジボール選手権大会」の前に授与式が行われ、昨年度中に各種スポーツ大会で優秀な成績を収めた個人・団体に対し、「スポーツ栄誉賞」3個人、「スポーツ賞」6個人、「スポーツ奨励賞」20個人、10団体に授与した。

能力、
の状況

全小中学校で「体力向上先導的実践事業」に取り組んでおり、総合体育館で有識者アドバイザー講師を招いてのスポーツ教室の開催、児童安小学校体育館を会場に、「遊びの教室」を開催することと、子どもたちが簡単なゲームな

總合文化祭

10月18日の全道27回
体、総出演者300名に
よる和太鼓の響演、11月
3日の文化の日に、町内
33団体、総勢283名が
歌、舞踊、ダンス等を披

俱知安風土館

重点事業として収蔵



質問が集中～

2期8年の福島町政を振り返って

明日の俱知安に向かつて

三島喜吉議員

長の所感を伺う
また、勇退にあたり、こ
れからの町のあるべき姿
と将来像を伺う。

平成27年1月27日の任期満了をもつて勇退することを決意した。振り返ると2期8年は、あつと言う間の月日だつた。

顧みると、平成19年度には、後志管内16町村で構成する後志広域連合に参加し、税の徴収、国民健康保険事業、介護保険事業の事務処理の共同化による効率を図ってきた。町民の医療を担う俱知安厚生病院が研修医制度の改正などから赤字化が進み、山麓7カ町村による財政支援を行つた。

インフラ整備では、国道393号線開通による交通量増加から住民や児童生徒の安全確保のため北7条東通り歩道造成事業に着手、白樺団地建替

事業 ノースパークタウ
ン改善工事、寒別橋改修

商業、産業振興では、プレミアム商品券の発行事業、住宅改修補助事業、併知安型住宅促進事業

ごみ処理の問題では、民間委託による固形燃料化処理を行つこととした。防災では、情報発信施設の防災行政無線の再整備を35年振りに行つた。今年、サンモリツツ姉妹都市提携50周年に当たり、記念式典を行い、さらに友好交流を深めるため共同宣言を交わした。また、23名の訪問団でサンモリツツを訪問し友好の絆を深めてきた。

明るい話題としては、北海道新幹線新函館駅幌間の事業認可が下り、一部トンネル工事が始まつた。更に、北海道横断自動車道共和余市間の事業化が今年6月に決定し、共和俱知安間も近い将来事業化が見通せる段階に来た。

としての評価も今後ますます高くなると考えてい
る。

基幹産業の農業においても、広大な農地を守りながら担い手を育成して食糧の生産基盤とともに

本町の未来には明るい要素や財産が多くあり、今後においてもさらに発展すると確信している。借金は25億円ほど減つたが積み残したことがたくさんあるので課題として次の体制に明るい本町の未来を託して、引き継いで行く。

議員の皆さんも本町の発展のため、町政の立場で頑張ってもらいたい。

現在、心身とも非常に健康そのもの、知識や経

福島町長　ようやく予定ですか

たな視点に立つた新体制の中で、本町の明るい未来に向けて行政執行がなされると信じている。町長を辞しても、一人の町民としてここで生きていく。私は去るけれども議員の皆さんのがしつかりと町民の意見を聞いて、新町長と議会がうまく玉輪のごとく頑張つてもいいたい。

今のところ、予定はまだである。ただ、元気で俱知安の行く末を見守っていきたい。

針が示され、予算編成が行われるのが通例である。

8年間の福島町政につ
制の町政運営となる。本
年度の予算編成方針と工事
を伺う。

新年度予算編成を要領は
11月5日付で通知した。
学校給食センター工事、
防災対策、公共施設の老
朽化対策、地域医療、環
境問題の対応が山積みし
てある。新年度予算は、
限られた財源を最大限効
率に活用する。
歳出全般の見直しと
策的施策の緊急性を勘定
し、抜本的な見直しもく
めて編成する。
最終的には、新町長
下で予算編成を行うが、
義務的経費、新規事業
継続事業などを事務的
整理し、新町長就任後、
新たな政策なども含め、
限られた期間内に鋭意業
業を進めていく。



～この課題に

今冬の除排雪・流雪溝の管理運営は

流雪溝の管理運用

三島喜吉議員

町の除雪対策として、4系統の流雪溝が敷設されている。雪を克服するということで全国的にも珍しい施設だ。

昨年・一昨年と1月に国道5号線の流雪溝が使用不能に陥り、相当不自由した。

その原因として、水量不足、実際使つていける町民のモラル欠如、流雪溝の構造的な問題などを指摘されている。

せっかくある流雪溝を十分な機能を生かして使うことが必要だ。国等による改善計画や町の運用について町長に伺う。

福島町長

昨年、一昨年と12月下旬から1月下旬にかけ、異常気象の影響で、やむを得ず長期間閉鎖した。

原因の一つとして、クトサン川の川底が浅くなり、流速が遅くなつたことが考えられる。この点は、平成24年度にも小樽建設管理部真狩出張所に土砂の除去を依頼した。一時は解消することができたが、翌年には同じ状

態になり、抜本的な解決に至っていない。

残さないようにできないか。

福島町長

①スクールバス路線における信号での停止線位置の変更は、6月20日に担当の俱知安警察署交通課に要望書を提出したが、開建俱知安開発事務所に要請している。

いずれにしても、抜本的な解決には尻別川の河川改修が必要であるが、本格的に改修は、まだ時間がかかると思うので、関係機関と連携を図り、運用に努めていく。

今シーズンの路線の除雪は、既に委託業者により作業が行われているが、安全確保に向け、教育委員会と連携を図り対応していく。

②ごみステーションのよ



笠原啓二議員

①スクールバス路線の安全運行確保について、町長も教育長も「互いに連携し善処していきたい」と6月議会で答弁した。6月以降の経過と現状はどうなつて

町道等の除排雪

いるか。

建設行政

原田芳男議員

①玄関前に除雪で置かれた雪の除去

などの大変さに耐えられず持ち家を処分しアパートなどに転居したり、雪の少ない町に移り住む方が増えている。我が町に住み続けられる施策が求められている。

今後、さらに担当課、社会福祉協議会など関係機関と協議し、少子高齢化社会に対応した除雪弱者の支援対策の確立を図りたい。

福島町長

①間口除雪は、高齢者や障がい害を持つ方などの除雪弱者が苦労していることは承知している。今年度もさまざまな検討を

べきでは。

②流雪溝の拡充が望まれている。計画的に延長す

べきではない。

②ごみステーションのように地域の方々が日常利用される施設は、利用者相互の協力により除排雪することが望ましいと考えている。担当者と業者の間で、できるかどうかよく検討してみたい。

福島町長

①間口除雪は、高齢者や障がい害を持つ方などの除雪弱者が苦労していることは承知している。今年度もさまざまな検討を

べきでは。

福島町長

②豪雪の本町で需要の高い施設であることは認識しているが、新たな施設整備には町の財政状況

もあり、現時点では難し



答弁にたつ福島町長

田中 義人 議員 … 1件の一般質問

後世に残す俱知安町の歴史の保存方法は



町長：デジタル化に向けて検討していく



収蔵庫で特別公開された収蔵品

田中　国際化が進む中、
町の歴史を知り、ア
イデンティティーの確立
をする事が重要と考える。
風土館を中心に歴史資料
の一元管理化を進め、風
化していく紙資料などを
デジタル化し、項目や年
代によって検索・閲覧が
容易に出来るように事業
を進めるべき。

町長　明治25年に開基さ
れ122年。平成
3年には開基100周年
記念式典を開催し、記念
映画やイメージ曲を作成。
昭和63年から平成7年ま
でかけ、百年史上・中・
下巻が発行された。平成
24年には開基120周年
記念誌も発刊されている。
近年では街並みライブ
ラリーとして映像もまと
めた。今後の150年、
200年に向け、デジタ
ル化は教育委員会と協議
しながら十分検討してい
きたい。

教育長　平成14年7月、俱
知安町の歴史、生
活、文化に関する資料の
保存、展示、調査研究を
行い、市民の郷土に関する
学習活動を支援するた
めに俱知安風土館が開設
された。羊蹄山とニセコ
の自然をテーマにした
ゾーンと俱知安の歴史と
暮らしを紹介するゾーン、
自然環境の展示を行い、
博物館として地域の方々
を迎えてきた。現在4万
点程の歴史資料の中から
1万5000点程の資料
を公開している。

現在、町長部局でも町
の歴史関連資料が保管さ
れており、内容を精査し、
風土館が一元的に管理す
べき資料は積極的に調製
していきたいと考える。
デジタルアーカイブ化
のメリットは、いつでも、
誰でも、どこからでもア
クセスできるところにあ
る。歴史的資料は使われ
てこそ意味を持つため、
町長部局の理解のもとに
取り組みを前進させてい
きたいと考える。

教育長　膨大な資料をデジ
タル化するには現
体制では恐らくなし得な
い。本年度から勤務の生
活指導員も学芸員資
格を有している。ボラン

町長

わたしも阿倍比羅
夫をブログに書い
たぐらい歴史探訪に関心
がある。次世代の方を育
成していくか、次の町長
にしつかり申し送りたい。

テイアを活用しながら整
理を進めたい。
また、現在の学芸員の
在任を考えると補強も必
要になつてくると考える。
今後は俱知安の風土
雪にまつわる部分、ス
キーにまつわる部分、ス
ケート場を核にし
て町民の活動を活発化さ
せる事業は充実させ、体
制作りも含めて、町民の
力を活用して歴史の集積
を出来る環境を作つてい
きたい。



展示されている歴史資料